

**相手に配慮しながら自分の考えを伝えるやり取りを通して、
会話する力を高める授業**

英語科 源田 洋平

1 単元名 Lesson 2 France –Then and Now (NEW CROWN English Series 3) (3 学年)

2 目標

新潟大学の留学生と日本の若者文化について話し合う活動を通して、現在完了形（継続用法）や現在完了進行形を用いて、相手の興味・関心・経験を引き出しながら会話を継続・発展させることができる。

3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現在完了形（継続用法）と現在完了進行形の形・意味・用法を使い分けながら、日本文化の特徴について説明できる。	新潟大学の留学生の興味・関心・経験を引き出しながら、情報や自分の考えを表現したり、相手の質問に対して、補足説明を加えたりしながら即興で答えたりすることができる。	相手への配慮を意識しながら、日本の若者文化について、やり取りしながら留学生に伝えようとする。

4 本単元を学習する意義

これまでの学習において、言語的な側面から、過去・現在・未来の時制を学習してきた。過去・現在・未来は時間軸の中で一点としてとらえられる。本単元では現在完了形（継続用法）と現在完了進行形を学習する。どちらも「過去のある地点から、今まで（ずっと）～している」という意味を表し、日本語に訳したときには大きな差はないが、現在完了形（継続用法）は永続的な動作に、現在完了進行形は一時的な動作や「繰り返し、ずっと」というニュアンスを強調する際に用いられる。これらを学習することで、時制に関して新たな概念を形成でき、英語の表現を豊かなものにすることができる。

本単元では、最終ゴールとして「日本に興味をもった新潟大学の留学生に、その人の興味あることやそれに関する経験を引き出しながら、相手の知らない日本の若者文化の一面を伝えることができる」を設定する。現在完了形（継続用法）と現在完了進行形を用いて、「相手が続けてしていること」や「人気である日本の若者文化」について説明することで、改めて、自分たちの国の文化のよさや価値を知ったり、日本文化が他国の文化にどのように受け入れられているかを知ったりすることで、日本文化に誇りをもつことができる。

また、新出文法の現在完了形（継続用法）と現在完了進行形やこれまでの既習言語材料を駆使し、相手の理解の状況に配慮しながら、日本文化について伝えることのできる生徒の育成を目指す。相手から突然投げかけられた質問に対して、その場で内容を理解し、適切に「内容」「文構造」を考えて答えることができる生徒の育成を目指す。それは、単に、事実や自分の考えを一方向的に紹介するのではなく、相手の反応を見て理解を確認しながら、それまでの自分の発話を振り返り、その後の発話を選択しながら伝えることのできる姿である。複数回、往來のあるやり取りを行うことで、情報・考えの広がりや深まりが生まれる。それによって、「より分かりやすく、より深く相手に内容を伝えることができた」「より相手の考えを理解できた」という実感を持つことができるようになる。

5 本単元における手だて

<手だてア>

外国人留学生と日本の若者文化について会話する活動を複数回、組織する。

即興で相手に事実や自分の考えを伝えたり、相手の考えを深めるための質問をしたりするためにはどうすればよいのだろうかという課題を見いだし、相手の興味・関心・経験に応じて、やり取りしながら、日本の若者文化を積極的に外国人に伝えようとする資質・能力を発揮させるために行う。

○ 台湾の大学生との交流活動を想起させる。

台湾の旅における台北城市科技大学の学生とのディスカッションの写真を提示して、その時の内容を想起させる。生徒は自分たちが事前に準備した発表はうまくできたが、その後の質疑応答で、臨機応変に質問したり、大学生からの質問に即興でうまく答えられなかったことを想起する。そこで、生徒は、「話し合いを深めるために即興的に質問したり、説明したりするにはどうすればよいか」という考えをもち始める。

○ 新潟大学の留学生から「日本の若者文化について知りたい」という依頼を受ける状況を設定する。

新潟大学の留学生からのメールを提示し、「日本の若者文化に興味をもって日本に来たこと」「日本の若者文化についてもっと知りたい」という旨を生徒に伝える。生徒は、「若者文化の何に興味があるか」「若者文化についてどれくらい知っているのか」について疑問に思うだろう。生徒から出された疑問をまとめ、留学生とメールでやり取りをする中で、トピックを絞っていく。留学生が日本のアニメ・漫画、食べ物、音楽、ドラマ、スポーツ、観光スポットについて興味を持っていることを知り、それらについて自分たちなりに調べ、説明する準備をして留学生を教室に招く。留学生との交流で、生徒達はこれまでの既有知識・経験を基に自分たちなりに説明するであろう。しかしながら、留学生の質問に対して、即興でうまく伝えることができなかつたり、そのトピックを広げたり、深めたりするような質問や説明ができないことに気づく。そして、留学生を再度、教室に招き若者文化について会話する活動をすることを伝え、次はうまく留学生と会話をしながらトピックの内容を深めていきたいという意欲を醸成させる。

これらの働きかけによって、相手の興味・関心・経験に基づいて、相手にとって興味深い日本の若者文化の一面を伝えたり、相手の質問に答えたりすることができるようになりたいという目的意識をもち、以下のような課題を見い出す。

<本単元における課題>

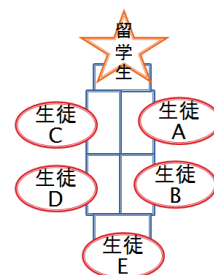
日本に興味をもった新潟大学の留学生に、相手の興味・関心・経験に基づいて、相手の知らない日本文化の一面を即興で話し合うにはどうしたらよいか。

なお、2回目の留学生交流会は以下の通りで行う。

留学生から再度、日本文化について興味があること、その中でも以下のトピック（アニメ・漫画、食べ物、音楽ドラマ、スポーツ、観光スポット）について教えてもらいたいという依頼を受ける状況設定を作る。留学生8人を招聘し、留学生1人に生徒5人のグループを作り、一人ずつ、留学生と1対1でやり取りを行う。代表者が発表している間は、他のメンバーは基本的に

留学生交流会の流れ&座席図

○生徒が一人ずつA～Eの順番に留学生とやり取りする。
○一人分のやり取りは3分。
※代表者がやり取りしている間は、他のメンバーは聴衆役。代表者が言い淀んだときは、サポートする。



は聴衆役になるが、代表者が言い淀んだときには、会話に入り、話題を広げるようにサポートする。

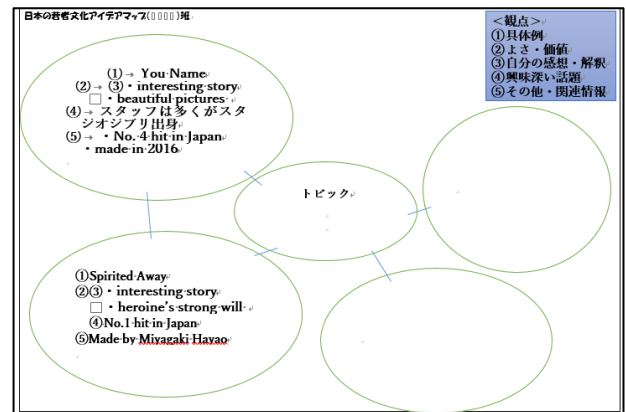
<手だてイ>

ペアで日本の若者文化について会話する帯活動を組織する。

既有知識・経験を引き出しながら、相手の知りたい日本文化の情報について、即興で会話を継続・発展させる資質・能力を発揮させるために行う。

○ アイデアマップを提示する

新潟大学の留学生からあがったトピックについての背景知識や、相手が興味をもちそうな情報を得るために行う。例えば、右の図のようにアニメについて、具体的なイメージ(①具体例, ②感想・解釈, ③よさ・価値, ④興味深い話題, ⑤その他など)を広げる。出てきた情報をグループで共有し、英語に直したり、どんな話題が留学生にとって興味深いか、留学生がどんなことを質問してきそうかを予想する。



○ Explanation Game —どんな日本の若者文化について説明しているかを推測させる活動

与えられたトピックを見て、相手にその特徴を単語、句、節単位のメモを基に説明する(アイデアマップ作成で出てきた情報を集約したものを活用)。右記のように、日本文化についてのトピックについての情報を、スライドやメモで生徒に提示する。提示する情報は、単語、句、節単位のものである。生徒は、情報を基に、即興的にペアの相手に説明する。ペアの相手は、説明している日本文化が何であるかを推測する。

○ 会話のモデルを作成する活動

1回目の留学生との交流会を振り返って、自分達がどのような会話をしていたかや、会話が途切れた時にどのように会話を継続・発展させていけばよいかを考え、アニメについての会話のモデルの作成と、①「反応」、②「確認」、③「説明」、④「質問」の4つのポイントを学級で合意形成しながら確認する(Modeling & Deconstruction)※。

留学生	生徒
<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you.	<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you, too.
<説明(話題提示・感想・依頼)> I'm interested in Japanese anime. Japanese anime is so cool. I want to know about it today.	<反応><質問(焦点化)> OK. What is your favorite anime?
<説明(焦点化)> I especially like "Your Name." - <u>Kiminonaha</u> .	<反応><確認><説明(感想)><質問(理由)> Oh. You like "Your Name." I like it too. Why do you like it?
<説明(理由)> Because I like the story and the pictures. I love it so much, so I've been watching it since it was released.	<反応><説明(経験)><説明(感想)> Wow. I watched it too. I was moved by the story.
<締めくくりのあいさつ> Thank you. I've enjoyed our talk.	<締めくくりのあいさつ> I'm sorry. Time's up. Nice talking with you.
~会話終了~	

<会話を継続・発展させるための4つのポイント>

- ①「反応」： 相手の言ったことに対して、うなずきやあいづちを打つ表現（例 Oh! Really! Great!）
- ②「確認」： 自分や相手の理解度の確認・質問
 - ・ 話し手が自分の言ったことを相手が理解しているかを確認するための発話（自分の発言の後に、相手が理解していない表情をしていたり、反応に困って言い淀んでいたたりした場合）（例 Do you understand?）
 - ・ 聞き手が相手の言ったことを自分が正しく理解しているかを確認するための発話（例 Are you saying that Taiwanese people have been enjoying Japanese Manga for a long time?）
- ③「説明」： 相手の質問や発言に対して、プラスアルファの情報を伝える。
 - ・ 具体例（①具体例，②感想・解釈，③よさ・価値，④興味深い話題，⑤その他）を付け加えて，伝える。
- ④「質問」： 相手の好み，理由を尋ねる。
 - ・ 焦点化する。（例 What is your favorite?）
 - ・ 理由を尋ねる。（例 Why do you like it?）

その後，作成したモデル原稿を基に，共通のアニメの話題について学級全員で会話を組み立て，練習を行う(Joint Construction)。さらに，生徒自身が選んだアニメの話題について，ペアで練習を行う(Independent Construction)。これによって，生徒は会話の進め方に見通しをもって，やり取りを進めていくことができる。

○ 即興で応答するための会話の練習

会話のモデルを基に，ペアで互いに，日本の若者文化について，様々なトピック（アニメ・漫画，食べ物，音楽，ドラマ，スポーツ，観光スポットなど）について説明したり，質問し合ったりしながら会話を複数回行う。その際，会話で有効な表現をまとめた表現集を活用し，実際の会話の場面で表現の意味や有用性を実感することで，即興で自分の考えを表現できるようになるだけでなく，相手の考えを聞きとる練習にもなる。また，会話を行う際，自分たちの発話をボイスレコーダーで録音し，後で聞き直させる。振り返りの際に，「このとき，何と言えばよかったのだろう」「他にも，もっとよい表現があるのではないか」などと，即興的に会話を広げていくためにはどうすればよいのかを考え，辞書を活用して表現を調べ表現集に加えることで新たな表現を身につけていく。

これらの働きかけによって，生徒は現在完了形（継続用法）や現在完了進行形を用いながら，相手の既有知識・経験を引き出しながら，相手の知りたい日本の若者文化の情報について，会話を即興的に継続・発展させることができるようになる。

※本実践は，ジャンル準拠ライティング指導の過程を話す（やり取り）力を育成する指導の過程に当てはめている。ジャンル準拠ライティング指導とは，Developing the context（状況設定），Modeling & Deconstruction（モデル分析），Joint construction（協同組立），Independent construction（個人組立）の流れで，どの種類の文章を，誰に，何の目的で，どんな内容と構成で，どんな言葉で，どの product として書くか，明示的に指導・評価。（Hyland, 2003）

<手だてウ>

留学生交流会を想定し、会話の発展につまずきを生じさせる新しいトピックを提示する。

既有知識・経験を駆使しながら、相手の知りたい日本文化の情報について、即興で話すことを継続・発展させる資質・能力を発揮させるために行う。右の表のような、日本の食べ物についての会話の発展につまずいている映像を提示する。留学生との交流会で、このような状況に遭遇することが予想されることを学級で共有した後、ど

留学生	生徒
<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you.	<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you, too.
<説明(話題提示・依頼)> I'm interested in Japanese food. Japanese food is so good. I want to know about it today.	<反応><質問(焦点化)> What is your favorite Japanese food?
<説明(焦点化)> I especially like "ramen".	<反応><説明(意見)><質問(理由)> Oh. You like "ramen". I like it too. Why do you like it?
<説明(理由)> Because it's very delicious. There are many kinds of ramen. I can enjoy many kinds of tastes.	<反応><説明(経験)><説明(感想)> That's right. I often eat it. I like it too.

のように、ここから会話を発展させていけばよいかを問う。生徒は「相手の経験を尋ねればよい」「おすすめの場所を伝えればよい」「他の新潟の食べ物を紹介すればよい」などと答えるであろう。このことを学級で共有した上で、ペアで日本の食べ物について会話させる。それによって、生徒は、以下のような質問をして、相手の既有経験・知識を尋ねることで、会話を発展させることができることを実感することができる。

- 「質問」：相手の既有経験・知識を尋ねる。
 - ・ どれくらい知っているか(例 How long have you known it?)
 - ・ どれくらい行っているか(例 How long have you been eating it?)
 - ・ どれくらい興味をもっているのか(例 How long have you been interested in it?)
 - ・ 既有知識を尋ねる(例 Do/ Did you know (that) ~?)

この働きかけによって、生徒は、現在完了形(継続用法)や現在完了進行形、会話を継続・発展させるための4つのポイント(①「反応」、②「確認」、③「説明」、④「質問」)の有用性を実感し、相手の興味・関心・経験を引き出して、即興で日本の若者文化についてやり取りすることができる。

<参考引用文献>

- Long, M.H. 1987 Native speaker/non-native speaker conversation in the second language classroom
In M. H. Long and J.C. Richards(eds.) Methodology in TESOL: A book of readings. Newbury House.
- J.A. ヴァン・エック/J.L.M. トリム 米山朝二/松沢伸二訳 1998 新しい英語教育への指針—中級学習者レベル<指導要領> 大修館書店
- Hyland, K. 2003 Second Language Writing Cambridge University Press
- 樫葉みつ子 2008 英語で伝え合う力を鍛える 1分間チャット・スピーチ・ミニディベート 明治図書
- 上村慎吾 2017 豊かな対話を求め、確かな学びに向かう生徒を育む授業 新潟大学教育学部附属新潟中学校

6 本単元における構想 (本時 10 / 12 時間)

目的意識	生徒の意識	学習活動・学習内容	教師の支援・指導	評価の観点 評価の方法
新潟大学の留学生に向けて、相手の興味・関心・経験を引き出しながら、日本文化を紹介したい。	留学生のメールには何が書いてあるのかな	① 台湾の大学生との交流会のことを想起する。 ○ 写真を見て、「準備した発表はうまくいったが、その後のやり取りでは話を深めることの難しさ」を想起する。	指示： Look at these pictures. What did you learn from the meeting and what was difficult for you when you keep your conversation going? (手だてア)	【主体的に学習に取り組む態度】 プログレССカード 【知識・技能】 WS 【知識・技能】 WS 【知識・技能】 WS 【思・判・表】 WS 【思・判・表】 WS 【思・判・表】 ボイスレコーダー 【思・判・表】 ボイスレコーダー
	即興でやり取りするのは難しいな	② 新潟大学の留学生から、「日本の若者文化について紹介してもらいたい」という旨のメールを読む。 ○ 伝える内容についてマッピングを行う。 ○ グループで協力して紹介原稿を書く	指示： Read e-mail and catch the main idea.	
	どのようにしたらうまくやり取りできるかな	③ 留学生に日本の若者文化について紹介する活動 ○ 日本の若者文化について紹介した後、留学生からの質問に答えたり、留学生に質問したりする。 (Developing the context) 【本単元における課題】 日本に興味をもった新潟大学の留学生に、相手の興味・関心・経験に基づいて、相手の知らない日本文化の一面を即興で話し合うにはどうしたらよいか。	指示： Talk with an international student about Japanese culture and tell him interesting things about them.	
	ALTは何と言っているのかな	④ 現在完了形(継続用法)の学習 ○ ALTの自国の文化についてのスピーチを聞いて、現在完了形(継続用法)(肯定文)の意味と用法を理解する。また、相手の理解度を確認することで相手に伝わりやすいスピーチになることを確認する。 ○ 現在完了形(継続用法)(肯定文)のドリルを行う。 ○ 教科書本文(GET Part1)を聞いて内容を理解する。 【現在完了形(継続用法)】	○ ALTが自国の文化紹介についてスピーチを行う。 ○ 聞き手の理解度を確認することで、より相手に伝わりやすいことを確認する。 ○ 現在完了形(継続用法)(肯定文)の意味と用法を確認する。	
	日本の若者文化をどのように英語で紹介したらよيدろうか	⑤ 現在完了形(継続用法)(疑問文・否定文)の学習 ○ ALTに日本文化に関する質問することを通して、現在完了形(継続用法)(疑問文・否定文)の意味と用法を理解する。 ○ 現在完了形(継続用法)(疑問文・否定文)のドリルを行う。 ○ 教科書本文(GET Part2)を聞いて内容を理解する。 【現在完了形(継続用法)】	○ 現在完了形(継続用法)(疑問文・否定文)の意味と用法を確認する。 ○ ALTの自己紹介文を提示し、関連してさらにどんなことを知りたいかを問う。	
	日本文化はフランスに大きな影響を与えたんだな 日本文化について背景知識を広げよう	⑥ 現在完了進行形の学習 ○ 教科書本文(USE Read)を読んで、フランスにおける日本文化の影響についての内容を理解する。 【現在完了進行形】	○ フランスにおける日本文化の影響についての文章を提示し、「過去と現在において、どのようにフランスの中で日本文化が受け入れられているか」を問う。	
	どのように会話を組み立てればよいか	⑦ イメージマップを作成する ○ イメージマップでさまざまな日本文化について背景知識を得る。(①具体例、②感想・解釈、③よさ・価値、④興味深い話題、⑤その他) ⑧ 会話のモデルを作成する活動 ○ 会話の型を学級で合意形成しながら作成し以下の観点を見いだす。(①「反応」、②「確認」、③「説明」、④「質問」) (Modeling & Deconstruction) ○ 共通のアニメの話題について学級全員で会話を組み立て練習を行う(Joint Construction) ○ 生徒自身が選んだアニメの話題について、ペアで練習を行う(Independent Construction)	○ イメージマップを提示する。具体例を抑えて、記入するように指示する。 (手だてイ) 発問：どのような展開で会話を進めますか。 ○ 会話を継続・発展させるための観点を確認する。	
	相手と即興で日本文化についてやり取りしよう	⑨ 仲間と日本の若者文化について会話する活動 ○ 様々なトピックについて、仲間と会話を行う。ボイスレコーダーで振り返り会話を継続・発展させるための表現方法を習熟させていく。	指示： Talk about ○○ with your partner. (手だてイ) 指示： Talk about ○○ with your partner. ○ ボイスレコーダーを用いて相互評価・自己評価を行いながら繰り返し練習を行わせる。 (手だてイ)	
	仲間と即興で日本文化についてやり取りしよう	⑩ 会話が行き詰る映像を視聴する活動 ○ 会話が行き詰ってしまった映像を視聴する。 ○ 会話の型を脱して、会話をさらに発展させるためにはどうしたらよいか考える。 ○ ペアになって、それぞれのトピックに沿って会話を行う。 ○ ボイスレコーダーを用いて他者評価・自己評価を行う。 【事実や自分の考え、気持ちを整理し簡単語句を用いて伝える】	○ 会話が行き詰ってしまった映像の提示 発問：会話が行き詰った状況でどのように会話を発展させていきますか。 (手だてフ) ○ 指示： Talk about Japanese culture with your friends. (手だてフ)	
	留学生と即興で日本文化についてやり取りしよう 単元を振り返ろう	⑪ 新潟大学の留学生と日本の若者文化について会話する活動 ○ グループになって、それぞれのトピックに沿って一人ずつ留学生と会話を行う。 ○ 留学生からの質問に即興で答える。 【事実や自分の考え、気持ちを整理し簡単語句を用いて伝える】 ⑫ 単元を通じた学びの振り返り ○ 日本文化紹介をする上で有効だった考え方を振り返り、ワークシートに記述する。	○ 指示： Talk about Japanese culture with the international university students. ○ 振り返る観点を与えて、振り返りを促す。	

7 本時の詳細

(1) 前時までの学習を終えた生徒の実態

- 新潟大学の留学生との1回目の交流会を終えて、日本の若者文化について、会話を広げたり、深めたりすることの難しさを実感している。また、相手の興味・関心・経験に基づいて、相手にとって興味深い日本の若者文化の一面を伝えたり、相手の質問に答えたりすることができるようになりたいという目的意識をもっている。(学習活動②・③)
- 現在完了形(継続用法)と現在完了進行形の意味・形・用法を理解している。(学習活動④～⑥)
- 学級全体で合意形成しながら、会話のモデルを作成し、会話の継続・発展のための4つのポイント(①「反応」、②「確認」、③「説明」、④「質問」)を確認している。(学習活動⑧)
- 作成したモデル会話を基に、日本の若者文化について(アニメ・漫画、音楽、ドラマ)、即興で話す練習を複数回行っている。(学習活動⑨)

(2) 本時のねらい



留学生交流会を想定し、会話の発展につまずきを生じさせる新しいトピックを基に日本の若者文化について会話する活動を通して、会話を継続・発展させるためのポイントを活用しながら、会話を進めることができる。

(3) 評価基準

○ 評価の観点 — 思考・判断・表現

A	B
会話の継続・発展のための4つのポイントのうち「質問」に重点を置いて、日本の若者文化について、相手の既有知識を引き出す質問をしたり、さらに相手の経験に応じて応答したりすることができる。	会話の継続・発展のための4つのポイントのうち「質問」に重点を置いて、日本の若者文化について、相手の既有知識を引き出す質問をすることができる。

(4) 本時の展開

学習活動・予想される生徒の反応	教師の支援・指導															
<p>① Warm-up Chat</p> <p>○ 横ペアを作り，与えられたトピックについて，90秒間，ペアで即興で会話する。</p>	<p>○ 活動の説明・指示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示: Let's chat with your partner. Today's topic is "What do you want to eat on the end of the world?" Move your desks and get in to pairs. Let's talk.</p> </div>															
<p>② 会話が行き詰ってしまった映像を視聴する活動</p> <p><会話原稿></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>留学生</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>生徒</p> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you. </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">↔</td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you, too. </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <説明（話題提示・感想・依頼）> I'm interested in Japanese food. Japanese food is so good. I want to know about it today. </td> <td style="text-align: center;">↔</td> <td style="padding: 5px;"> <反応><質問（焦点化）> OK. What is your favorite Japanese food? </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <説明（焦点化）> I especially like "ramen". </td> <td style="text-align: center;">↔</td> <td style="padding: 5px;"> <反応><確認><説明（感想）><質問（理由）> Oh. You like "ramen". I like it too. Why do you like it? </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <説明（理由）> Because it's very delicious. There are many kinds of ramen. I can enjoy many kinds of tastes. </td> <td style="text-align: center;">↔</td> <td style="padding: 5px;"> <反応><説明（経験）><説明（感想）> That's right. I often eat it. I like it too. </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> </td> <td style="text-align: center;">↔</td> <td style="padding: 5px;"> </td> </tr> </table>	<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you.	↔	<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you, too.	<説明（話題提示・感想・依頼）> I'm interested in Japanese food. Japanese food is so good. I want to know about it today.	↔	<反応><質問（焦点化）> OK. What is your favorite Japanese food?	<説明（焦点化）> I especially like "ramen".	↔	<反応><確認><説明（感想）><質問（理由）> Oh. You like "ramen". I like it too. Why do you like it?	<説明（理由）> Because it's very delicious. There are many kinds of ramen. I can enjoy many kinds of tastes.	↔	<反応><説明（経験）><説明（感想）> That's right. I often eat it. I like it too.	↔	<p>○ 会話の発展につまずきを生じさせる新しいトピックを提示する。 (手だてウ)</p> <p>○ 会話が行き詰ってしまった映像を提示する。</p>
<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you.	↔	<あいさつ・自己紹介> Hello. I'm ~. Nice to meet you, too.														
<説明（話題提示・感想・依頼）> I'm interested in Japanese food. Japanese food is so good. I want to know about it today.	↔	<反応><質問（焦点化）> OK. What is your favorite Japanese food?														
<説明（焦点化）> I especially like "ramen".	↔	<反応><確認><説明（感想）><質問（理由）> Oh. You like "ramen". I like it too. Why do you like it?														
<説明（理由）> Because it's very delicious. There are many kinds of ramen. I can enjoy many kinds of tastes.	↔	<反応><説明（経験）><説明（感想）> That's right. I often eat it. I like it too.														
.....	↔														
<p>○ 会話の型を脱して，会話をさらに発展させるためにはどうしたらよいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「どれくらい好きか」や「どれくらい食べているか」などの期間を質問する。 (How long have you liked it?) ・ 相手の経験を質問する。(Did you go to many ramen shops in Niigata before?) ・ おすすめのラーメンを紹介すればよい。 (You should go to Urasaki.) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 発問: 会話が行き詰った状況でどのように会話を発展させていきますか </div> <p>○ 留学生との交流会で，このような状況に遭遇することが予想されることを学級で共有する。</p> <p>○ 会話が行き詰まった状態からどのように話題を発展させていけばよいかを問う。</p> <p>○ ペアで話し合った考えを，全体共有し，会話を発展させるための表現方法を問う。</p>															

<予想される生徒の会話>	
<説明 (理由)> Because it's very delicious. There are many kinds of ramen. I can enjoy many kinds of tastes.	<反応><説明 (感想)><説明 (経験)> That's right. I like it too. I often eat it.
<説明 (期間)> Since I came to Niigata.	<質問 (期間)> How long have you liked it?
<説明 (経験)> Well. No so many.	<質問 (経験)> Did you go to many ramen shops in Niigata before?
<反応><説明 (意見)> Oh. I want to go there.	<反応><説明 (おすすめ)><説明 (感想)> Really? You should go to Urasaki, near Niigata Station. It is very delicious.
<締めくくりのあいさつ> Thank you. I've enjoyed our talk.	<締めくくりのあいさつ> I'm sorry. Time's up. Nice talking with you.
~会話終了~	

③ 仲間と日本の若者文化について会話する活動①

- ペアを作り、与えられたトピック（日本の食べ物）について仲間と会話をする。
- ボイスレコーダーで会話を記録する。

④ ボイスレコーダーによる振り返り①

- 振り返りの観点を基に、自らの発話を振り返る。

<振り返りの観点>

- 言語材料（現在完了形（継続用法）や現在完了進行形など）
- 会話の継続・発展のための4つのポイント（①「反応」、②「確認」、③「説明（感想）」、④「質問」（焦点化））
- 会話を発展させるための+αの工夫質問（期間・既有知識・経験）

○ 活動の説明・指示

指示： Get into pairs. Talk about Japanese food with your classmate.

- ボイスレコーダーを配布し、自分の発話を記録するように指示を出す。
- 3分間時間を計り、タイムキープする。
- 机間指導しながら、合意形成した流れで会話をしているペアを見とる。
- 合意形成した流れで会話をしていたペアの発話を板書し、会話のつまづきを改善するための方法を学級全体で共有する。
- ボイスレコーダーを用いて相互評価・自己評価を行い、振り返り改善点を見いだす。
- 振り返りカードを配布し、観点を提示する。
- 自己評価の際、英語で表現できなかったものを辞書を用いて調べて、表現集に追記する。

<p>⑤ 仲間と日本の若者文化について会話する活動②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1回目の会話で出た改善点を意識して会話する。 ○ ペアを作り，与えられたトピック（観光スポット）について仲間と会話をする。 ○ ボイスレコーダーで会話を記録する。 <p>⑥ ボイスレコーダーによる振り返り②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りの観点を基に，自らの発話を振り返る。 <p><振り返りの観点></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 言語材料（現在完了形（継続用法）や現在完了進行形など） <input type="checkbox"/> 会話の継続・発展のための4つのポイント（①「反応」，②「確認」，③「説明（感想）」，④「質問」（焦点化）） <input type="checkbox"/> 会話を発展させるための+αの工夫質問（期間・既有知識・経験） </div> <p>⑦ プロGRESSカードに授業の振り返りを記録する活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ プロGRESSカードの「単元を通じた学習の取り組みの変化・成長」を記入する。 ①授業に臨む姿勢，②活動の取り組み，③自分なりの目標に対する振り返りを記入する。 	<p>○ 活動の説明・指示</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>指示： Make pairs with a different partner. Talk about Niigata sightseeing spots with your classmate.</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> • ボイスレコーダーを配布し，自分の発話を記録するように指示を出す。 • 3分間時間を計り，タイムキープする。 <ul style="list-style-type: none"> ○ ボイスレコーダーを用いて相互評価・自己評価を行い，振り返り改善点を見いだす。 ○ 振り返りカードを配布し，観点を提示する。 ○ 自己評価の際，英語で表現できなかったものを辞書を用いて調べて，表現集に追記する。 <ul style="list-style-type: none"> ○ プロGRESSカードに今日の授業の振り返りを書かせる。
--	---

